

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語ⅡA(0065)	
科目基礎情報							
科目番号		2Z20		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		産業システム工学科環境都市・建築デザインコース		対象学年	2		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		『Crown English Communication I』、『Crown English Communication I Workbook』、『チャート式 Dual Scope』					
担当教員		横田 実世					
到達目標							
1学年で学んだ基礎的な文法・語法・語彙などを踏まえつつ、新たな語彙・文法および文章表現を学ぶ。実用英語検定準2級合格レベルに達し、さらに上の級を目指す。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		高校1年生レベルの基礎的な英語を習得し、文法・語彙などを80%以上理解できる。		高校1年生レベルの基礎的な英語を習得し、文法・語彙などを60%以上理解できる。		高校1年生レベルの基礎的な英語を習得しているが、文法・語彙力などの把握力が60%未満である。	
評価項目2		実用英語技能検定準2級合格レベルに達している		実用英語技能検定準2級合格レベルを目指すことができる		実用英語技能検定準2級合格レベルに達していない	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP6							
教育方法等							
概要		英語IA,IB,ICで学んだことをベースにしてさらに基礎的な文法・語法・語彙などを学ぶ。また、学んだ英語が使えるよう練習をする。語彙力は、高校1－2年生でマスターしておきたい基本語600-690語を身につける					
授業の進め方・方法		英文の読解、文法事項の解説、語句の活用練習、発音練習、文化的背景の説明を行う。文法や語彙力を実践的に身につけさせるために、英語で文章を作ったり、簡単な説明をさせる。また、レッスンごとで小テストを実施する。					
注意点		予習として教科書の本文を黙読また、何度も音読すること。さらに、単語・熟語を調べ、指定された箇所の意味を把握すること。復習として学んだ文章を書いたり、習った単語や文法表現を使って文章をつくる。さらに日常からラジオやテレビの英語学習番組を視聴したり、字幕付き洋画を見たり、英字新聞を読むなどの自習をする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction, Lesson 7: Paper Architect		* seem to～表現；受動態の完了形；形式目的語"it"の表現		
		2週	Lesson 7: Paper Architect (continue)		* seem to～表現；受動態の完了形；形式目的語"it"の表現		
		3週	Lesson 7: Paper Architect (continue)		* seem to～表現；受動態の完了形；形式目的語"it"の表現		
		4週	Lesson 8: Not So Long Ago		* 仮定法過去；付帯状況の"with"；SVO疑問詞節(e.g., The data show us how people think about foreign countries)		
		5週	Lesson 8: Not So Long Ago		* 仮定法過去；付帯状況の"with"；SVO疑問詞節(e.g., The data show us how people think about foreign countries)		
		6週	Lesson 8: Not So Long Ago		* 仮定法過去；付帯状況の"with"；SVO疑問詞節(e.g., The data show us how people think about foreign countries)		
		7週	Review		Lesson 7 and 8復習		
		8週	到達度試験				
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3	

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	

評価割合

	試験	宿題・小テストなど	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0